

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

1990年代初頭の米ソ冷戦体制の崩壊で、グローバル化が進み、世界の国々の相互依存が高まっています。世界は相互依存を強め、経済を成長させてきましたが、その負の側面として、ひとびとの経済格差が拡大してきています。アメリカは、トランプ政権の誕生で自国第一主義をかかげ、保護主義的な政策を進め、TPP(環太平洋経済連携協定)から離脱しました。パリ協定からも離脱します。

中小証券への経済・証券市場予測などの情報を提供している日本証券経済研究所における実務経験に基づいて、国際貿易の見通しの分析手法について詳しく講義します。

本講義では、とくにイギリスのEUからの離脱問題、グローバル化の進展による極右勢力の台頭についてあきらかにします。

授業計画

第1回	講義の概要
第2回	貿易はなぜおこなわれるか
第3回	貿易政策とは-関税と非関税障壁
第4回	世界貿易体制-WTOとは
第5回	TPP(環太平洋経済連携協定)の概要
第6回	FTAとは
第7回	開発援助の在り方
第8回	国際金融市場について
第9回	欧米の近代市民社会とは
第10回	アメリカでの自国第一主義
第11回	イランの核合意と中東での危機
第12回	イギリスのEU離脱問題
第13回	ヨーロッパでの極右の台頭
第14回	独仏の政治・経済の混乱
第15回	世界の貧困をなくすには
第16回	期末試験

到達目標

トランプ政権の誕生で、世界の貿易や経済は大きく変容しつつあります。グローバル化の進展によって世界は経済成長を実現してきましたが、貧困問題はなかなか克服されていません。そうしたなかで極右勢力が台頭してきていますが、どうしてなのかということについて理解してもらうことを目標としています。

履修上の注意

現実の国際経済について講義しますので、新聞などをよく読んでください。30分以上の遅刻は欠席とし、30分以内の遅刻二回で欠席一回とします。

国際金融論を履修すると、現状の国際経済の実態をより深く理解することができます。

予習・復習

講義の予習・復習をしてください。現実の世界経済について講義しますので、新聞などをよく読んでください。

方法

中間試験(30%)と期末試験(70%)によって総合的に評価します。

テキスト

相沢幸悦「もう一つの神の見えざる手」時潮社、2019年